

2019年度事業計画

2019年度は、主たる収入である日揮株式会社の配当金が減額（1株当たり25円から12円へ）されるが、例年行っている特定資産の積み増しを行わないことで、前年とほぼ同規模の事業計画を策定した。

なお、海外からの留学生に対する奨学事業を整理し、従来からの第二種給与奨学金の仕組みで（対象大学、支給額を揃えて）給付を継続する。また、公益事業比率（法規定は50%以上）は80%を上回る見込みであり、事業内容の明細は以下の通り。

1. 日本人学生向け奨学事業

1.1 貸与奨学金

- ・ 2011年度から新規募集を停止し、現在は貸付金の回収のみ。
- ・ 返済者は約700名（貸与残額は約420百万）であり、2019年度は80百万円の返還を見込む。
- ・ 返還滞納者は、弁護士との相談のもと必要に応じて法的な措置を引き続き講じる。

1.2 給与奨学金

- ・ 指定73大学から385名（前年度と同数）に給付する。
- ・ 給与奨学金は従来通り30万円/年とし、115百万円（前年度同額）を計上する。

1.3 海外留学奨学金

- ・ 前年度と同様に、指定5大学（東大/東工大/早大/慶大/阪大）の日本人大学院生を対象として5名の海外留学生を募集する。
- ・ 研究を目的とした留学を原則とし、期間は4カ月以上1年未満で、奨学金（月額15万円）と渡航費（一律20万円）を給付する。
- ・ 予算は前年度募集5名の550万円を計上する（留学時期が募集翌年度となるため、2019年度募集者の予算は計上していない）。

2. 留学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金（今までの第二種給与奨学金）

- ・ 指定 69 大学の海外留学生 80 名（前年度と同数）に給付する。
- ・ 奨学金は 30 万円/年（5 万円アップし日本人と同額とした）とし、予算は 2,400 万円（前年度 400 万円増）を計上する。

2.2 今までの第三種給与奨学金の取り込み

- ・ 第三種給与奨学金は、産油・産ガス国からの留学生に限定して 2008 年から 10 年間継続してきたが、対象者が特定の国に偏る傾向にある、大学からは対象国を限定せずに広く留学生に給付してほしいとの意見があり、第二種給与奨学金へ統合する。
- ・ なお、本案が承認された場合には、当財団の奨学規程第 3 条（奨学生の種類および奨学金の額）を改訂する（第二種、第三種の表記をとり、留学生として 1 本化する）。

3. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

3.1 指定大学訪問

- ・ 前年度同様、10 月から 12 月にかけて地方所在の 46 大学、首都圏所在の 27 大学、合計 73 大学を訪問し、日本人、留学生、返還猶予者との面談および大学担当部門との意見交換を行う。予算は 135 万円を計上する。

3.2 海外から留学の給与奨学生との懇談交流

- ・ 地方大学の奨学生は上記大学訪問に併せて面談し、首都圏所在大学の奨学生は 2020 年 1 月に懇談交流会を予定する。予算は、50 万円を計上する。

4. 研究助成金の支給

- ・ 研究助成は 73 大学を 2 つに分け、偶数年度は 36 大学、奇数年度は 37 大学を対象として募集している。
- ・ 2019 年度は奇数年度につき、37 大学を対象とし若手教員からの研究計画を選考のうえ、30 名（前年度同数）に対して、200 万円/人を助成する。予算は 60 百万を計上。

以上

添付：奨学生および研究助成金の指定大学一覧（2019 年度）

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2019年度)

大学 コード	大学名	日本人		留学生		研究助成金		大学 コード	大学名	日本人		留学生		研究助成金		大学 コード	大学名	日本人		留学生		研究助成金	
		給与 (人数)	留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	給与 (人数)			留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	給与 (人数)	留学			給与 (人数)	奇数年	偶数年			
01	北海道	9		2		○		25	福井	3		1		○		51	大阪府立	5		1		○	
02	東北	9		2	○			26	静岡	7		1		○		52	埼玉	4		1		○	
03	東京	11	○	2	○			27	山梨	3		1		○		53	富山	3		1		○	
04	京都	11		2		○		28	名古屋工業	5		1		○		54	琉球	3		1		○	
05	大阪	11	○	2		○		29	山口	4		1		○		55	茨城	4		1		○	
06	九州	11		2		○		30	九州工業	5		1		○		56	東京農工	5		1		○	
07	東京工業	9	○	2	○			31	室蘭工業	3		1		○		57	岐阜	4		1		○	
08	横浜国立	6		1		○		32	首都東京	5		1		○		58	愛媛	4		1		○	
09	岩手	3		1	○			33	大阪市立	3		1		○		59	北見工業	2		1		○	
10	千葉	7		2		○		34	早稲田	11	○	2		○		60	宇都宮	2		1		○	
11	新潟	4		1	○			35	慶應義塾	9	○	1		○		62	佐賀	3		1		○	
12	金沢	4		1		○		36	芝浦工業	9		1		○		63	大分	1		1		○	
13	名古屋	9		2	○			37	東京電機	9		1		○		64	兵庫県立	3		1		○	
14	神戸	7		1	○			38	日本	11		1		○		65	豊橋技術科学	2		1		○	
15	岡山	5		1	○			39	中央	4		1		○		66	長岡技術科学	2		1		○	
16	広島	5		1		○		40	学習院	1		-		○		67	筑波	7		2		○	
17	徳島	4		1	○			41	東京理科	11		1		○		68	工学院	7		1		○	
18	長崎	2		1	○			42	千葉工業	9		1		○		69	東海	11		1		○	
19	熊本	4		1	○			43	成蹊	1		-		○		70	電気通信	4		1		○	
20	宮崎	3		1	○			45	鹿児島	5		1		○		71	立命館	8		1		○	
21	鳥取	4		1	○			47	東京都市	4		1		○		72	日本女子	1		-		○	
22	秋田	2		1		○		48	上智	2		1		○		73	東京海洋	3		1		○	
23	山形	5		1		○		49	関東学院	3		1		○		74	明治	9		1		○	
24	群馬	3		1	○			50	信州	7		1		○		75	同志社	5		1		○	
																76	お茶の水女子	1		-		○	

* 日本人向け奨学金	給与 385名/73大学	留学 5名/5大学
* 留学生向け奨学金	給与 80名/69大学	
* 研究助成金	30名(偶数年は36大学、奇数年は37大学から)	

(大学コード 欠番 : No.44 No.46 No.61)